

午後 II 試験

問 1

出題趣旨

IoT システムに多様かつ大量の IoT デバイスが接続されると、IoT システムの構成は変化し、アプリケーションソフトウェアの種類・機能も拡充されていく。一方で、IoT デバイスに故障、誤動作、サイバー攻撃などが生じると、関連するアプリケーションシステム、サービスに様々な影響を及ぼすことが考えられる。したがって、IoT システムを企画するに当たっては、IoT システム特有のリスクを想定・評価して、IoT システムの開発、運用、保守、及びセキュリティに関わる方針・基準などを明確にしておくことが重要になる。

本問では、システム監査人として、IoT システムの企画段階において、IoT システム特有のリスクを踏まえて、開発、運用、保守、及びセキュリティに関わる方針・基準などが適切かどうかを監査するための知識・能力などを問う。

問 2

出題趣旨

情報セキュリティ関連規程は、常に変化する企業の外部環境及び内部環境に伴って見直しが行われなければならない。特に近年は、サイバー攻撃の高度化や新しい情報技術の導入など、リスクを大きく変化させる事象が頻繁に発生している。そして、これらのリスクは、多くの IT 資産の管理やその利用に影響を与える。このため、組織には、情報セキュリティ関連規程を、リスクの変化に応じて適時かつ適切に見直し、これを各部署に周知徹底させることが求められる。

本問では、システム監査人として、情報セキュリティ関連規程の見直し手続、当該規程を周知徹底するための計画及び周知徹底状況が適切かどうかを監査するための知識・能力などを問う。